

官民協力し、災害・事故に備えを



城里町建設業協会
松崎 信一 会長

対談
近年は自然災害が頻発し、本年も能登半島地震が発生し、多くの被害をもたらしている。地域住民の安全・安心を守る役割がある地方自治体と地方建設業団体にはどのような取り組みが求められているのか。そのためには何が必要なのか。城里町の上遠野修町長と町建設業協会の松崎信一会長に語り合ってもらった。

城里町
上遠野 修 町長



松崎会長 技術者は、一朝一夕に育めるものではありません。専門工事をやる技術者として育てる。現役の技術者の高齢化が進み、若手技術者の継承を促すことが大事になります。その意味で、県が基礎的な技術者採用する技術評価制度を加えていくことが重要です。地域のインフラ整備というのは、地域住民の安全確保や経済の活性化等に欠かせないものです。ぜひ積極的に進めていきたいと思っております。

上遠野町長 なんといっても財源が思います。充実した補助制度などで、災害対策や強靱化事業を進められるように、財源確保をお願いします。町でも利便な補助制度を活用して、河川対策やがけ崩れ対策など積極的に進めていきたいです。

「自然災害多発し、国土強靱化の必要性が叫ばれています。」
上遠野町長 なんといっても財源が思います。充実した補助制度などで、災害対策や強靱化事業を進められるように、財源確保をお願いします。町でも利便な補助制度を活用して、河川対策やがけ崩れ対策など積極的に進めていきたいです。

松崎会長 城里町建設業協会では2018年(平成30年)に町と災害防止協定を結んでいます。災害はいつ起こるか分からない。地元の安全・安心を守る地域の建設業団体として災害が起こった場合は協会員が一丸団結して対応していきたい。私たちが携わった公共事業は税金で賄われている。そのためにも迅速に意思を持って対応していきたい。インフラ整備では、町内は狭い道路が多

上遠野町長 能登半島地震は、これまでの震災対策の蓄積を踏襲するものと思います。一つは、停電対策です。本町では日でも停電を繰り返せる態で対策をしていますが、能登半島地震では一週間経っても多くの地域で停電が続いていました。本町では今年度予算で非常用電源の整備と太陽光発電設備の増設を計画し、整備を進めています。



上遠野町長と町建設業協会の代表が、町民の安全・安心を守ること語り合った

強靱化へ財源必要 地域の安全に貢献
上遠野町長 町としても建設の皆さんが安全で、
松崎会長 一、城里町として、地域の建設業に期待すること。

松崎会長 昨年7月には、町内を通る国道100号線と、茨城県土木部や町、町建設業協会、地元民による地盤確認・対策会議が開かれました。事故が発生した現場の状況を把握するなどの、必要な対策について意見を出し合いました。

上遠野町長 鳥インフルエンザや豚熱が発生した際には、建設業協会の皆さんが防疫作業に協力していただき、被害が広がらなくて済んだことに感謝しています。



町建設業協会では、通学路の美化活動をボランティアで行っている

松崎会長 機械やパソコンの作業をする技術者はいるのですが、あまり目立たない趣味に作業を行っている土の方を育てることも必要だと思います。こういった方々は高齢の方が多い。技術の継承も重要です。町の協会は、長年にわたり、町内の通学路で美化ボランティア活動を行っています。昨年も除草や伐採作業を行い、大変喜んでいただきました。地域の住み手の安全のため、今後も活動を続けていきたいと思っています。

松崎会長 防疫活動では、知事や町長をはじめ、職員の方、建設業協会のメンバー作業を行いました。このよきなところは発生しない方が長なのですが、万が一発生した場合には、先日も、理屈解離の視察を県が行い、彼なども助言を伺いました。



鳥インフルエンザの防疫作業も行った

城里町と災害協定を締結 城里町建設業協会

会長	常北建設工業(株)	副会長	(有)大座畑建設	顧問	(有)大竹建設工業(株) 桐原工務店	会計	(有) 東海組
会員	(有) 東海組 常北建設工業(株) (有)大竹建設工業	(株)常陸建設工業 鈴和産業(有) (株) 河原井	(株) 桐原工務店 関口工業(株) (株)金長設備工業	(有)大座畑建設 大洋工業(株)	(株)三陽造園土木 澤田建設(株)		